

沖縄県振興審議会議事要旨

【総合部会】

第2回 平成28年10月12日（水）

1. 沖縄21世紀ビジョン基本計画中間評価（案）（第1章）

（1）基本計画策定後の沖縄の経済情勢

- 基本計画には「優しい社会の構築」と「自立型経済の構築」の2つの基軸がある。「自立型経済の構築」に関する分析だけではなく、「優しい社会の構築」についても分析が必要ではないか。
- 企業景況感や雇用人員判断の図表について、図表の動きについての説明が抜けている部分があるので、工夫すべきではないか。
- 全ての図表について言えることだが、図表に記載されていない数字が説明に出てくる場合がある。そこは図を見て推測しなければいけなくなるので、記載を工夫すべきではないか。
- 観光は伸びていることは分かるが、観光客のリピート率等、「質」の部分の数字があれば追記してはどうか。
- 年によって、那覇空港における国際貨物取扱量に変動があるが要因は何か。
- 平成20年と平成27年を比べて伸びていると説明しているが、図を見ると頭打ちの感じがする。説明を追加したほうがよいのでは。
- 公共事業費について、金額が大きくなっても沖縄県内に落ちている額が少ないとあまり意味がない。県内発注等について記載すべきではないか。
- 沖縄の景気が良いのはわかるが、全国との差がどの程度で、今後どのような見通しか、分析してはどうか。

（2）基本計画の展望値の状況

- 人口の展望に関する記載について、人口増加計画との整合はとれているのか。
- 労働力人口・就業者数の展望に関する記載について、経済情勢のなかで、若年失業率や雇用形態についての課題を記載しているのに、その課題を踏まえた対応について記載すべきではないか。
- H22 と H25 を比較すると県内総生産は 1 千億円しか増えてない。H33 までに 5 兆円超へ伸びるかは疑問。どの分野がどの程度伸びていくか産業別に細かい分析が必要。
- 県内総生産について名目のみを記載しているが、実質も把握すべきではないか。
- 「一人当たり県民所得」は一般の方からすると個人の所得だと勘違いしてしまうので。誤解のないように注釈を記載してはどうか。

2. 沖縄 21 世紀ビジョン基本計画中間評価(案) (第 3 章)

(1) 子どもの貧困対策

- 「全国と比べて子どもの貧困率が 1.8 倍高く」とあるが、出所を明記して欲しい。
- 「地域の実情に応じた子どもへの支援を行う団体への支援」という表現がわかりにくいため、もう少しわかりやすい表現に修正してもよいのではないか。

(2) MICE の振興

- 国内や海外も含め、MICE 誘致の強化や需要に関する調査についても併せて行わないと、経済効果が限られてしまう。
- アクセスや、周辺施設の問題等についても検討が必要である。

(3) 国際医療拠点の形成

- 健康・医療産業クラスターの形成を目指すということだが、琉球大学の医学部病院や重粒子線の治療施設など、総合的に検討する必要がある。

○沖縄に先進医療を誘致することも必要だが、がん対策など、県民に対してどう医療を提供していくかという視点も示せたら良いと思う。

(4) TPP への対応

○「TPP への対応」は、農業の活性化や6次産業など視点からの整理も必要ではないか。

(5) 雇用の質改善

○民間企業で行っている優れた制度に対して支援する必要があるのではないか。

(6) 基盤人材の育成

○観光業や飲食業など、人手不足が問題となっている。外国人労働者の活用も含めて検討していく必要がある。

(7) その他

○専門学校卒業者の活用についても検討が必要ではないか。

○「新たな課題に対応した施策の展開方向」における施策展開の順番をわかりやすく整理しても良いのではないか。

○インフラの維持・更新などの老朽化対策について、小規模自治体では対応が難しく、県も市町村も含めて検討する必要があるのではないか。

○優しい社会の構築について、県、市町村、NPOなどのネットワーク構築や課題にどのように対応するのか、その仕組みづくりの検討が必要ではないか。

○中小企業への支援も重要である。

○国の施策とも整合性をとりながら、後期の課題や県独自の取組を検討してみてもどうか。

○OISTとの関連で、海洋関係のバイオなどを含めて、県独自の施策、国の施策と連携できるようなものも検討してもよいと思う。